

平成24年度教育委員会事務点検評価(平成23年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

		整理番号	10
事務事業の名称	スポーツ教室等開催事業	担当部課	教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課
		電話番号	04 - 2953 - 1111 内線 5711
実施期間	不明 ~		
総合振興計画における位置づけ	5章 人を育み文化を創造するまちをめざして	実施根拠	スポーツ基本法
	1節 生涯学習の振興		
	施策 43 生涯スポーツの促進	個別計画の名称	狭山市スポーツ振興基本計画
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 法定受託事務+自治事務		
事業開始の背景等	生涯にわたって「だれもが」「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう、そのきっかけづくりとして、開始された。		

2 事務事業の目的・内容

目的	スポーツ教室や行事等を開催することにより、市民にスポーツに親しむきっかけを提供し、相互の交流を深めるとともに、健康づくりや体力を向上することにより生涯スポーツの振興を図る。		
対象	市内に在住、在勤、在学する者		
活動内容	平成23年度のスポーツ教室は継続して実施している硬式テニス、スポーツ吹矢教室等をはじめ、新たに夏休み子ども教室や初心者女性ゴルフ教室も加え、13種目18回開催し、スポーツ行事も4種目7回開催、延べ開催日数は88日で、延べ参加人数は2,291人であった。		
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	継続	
環境配慮	各教室や行事において、ゴミの持ち帰りの徹底を図った。		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他()		

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	目標値の根拠・考え方
(活動状況指標)	スポーツ教室開催回数	目標値	回	18	15	16	18	昨年度の実績
		実績値		15	16	18		
		達成率		83.3%	106.7%	112.5%		
	スポーツ行事開催回数	目標値	回	8	8	6	6	過去3年間のスポーツ行事開催回数の平均
		実績値		6	6	7		
		達成率		75.0%	75.0%	116.7%		
(成果指標)	スポーツ教室参加人数	目標値	人	2,248	2,043	2,068	2,291	昨年度の実績
		実績値		2,043	2,068	2,291		
		達成率		90.9%	101.2%	110.8%		
	スポーツ行事参加人数	目標値	人	1,227	1,112	980	867	過去3年間の延べ参加者数の平均
		実績値		922	790	888		
		達成率		75.1%	71.0%	90.6%		

4 事業費

区分		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	
経費	直接費	予算額	千円	670	776	899	904
		決算額	千円	514	605	734	
	財源内訳	国県支出金	千円				
		その他特定財源	千円				
		一般財源	千円	514	605	734	
	人件費	従事職員数	人	1.00	1.05	1.05	
		人件費(従事職員数×平均給与)	千円	9,195	9,441	9,457	
事業費計(直接費決算額+人件費)		千円	9,709	10,046	10,191		
効率性指標	指標名	参加人数(スポーツ教室・行事)	人	2,965	2,858	3,179	※1単位当たりの経費
	単位コスト	参加者一人当たりの経費	円	3,275	3,515	3,206	

5 事務事業の評価

◆第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	4	スポーツに親しむきっかけを提供し、市民の健康づくりや高齢者の生きがいづくりに資するものであり、市民のニーズにも合致している。
		前年度 4	
	有効性	4	スポーツ教室等の開催回数や参加人数は、概ね目標を達成できている。また、参加者からは、各種目とも好評を得ている。
		前年度 4	
効率性	・手段の最適性 ・コスト効率の向上 ・受益者負担の適正化 ・執行体制の効率化 など	4	スポーツ推進員やスポーツボランティアの活用とスポーツ・レクリエーション団体の協力により、教室等を開催したことで、種目や回数の確保ができ、新たな種目も加え、実施することができた。
		前年度 3	
<5段階評価> 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い			
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了		
今後の方向性	「だれもが」、「いつでも」、「どこでも」、「いつまでも」スポーツ等に親しむことができるよう、市民のニーズにあった教室等を開催する。特に健康志向に合致した教室等を開催する。		

6 その他(学識経験者の意見等)

スポーツ教室参加者は微増しているが、スポーツ行事参加者はあまり変わらない。だが、スポーツ推進員等との協力により教室等の開催に成果を出している。今後は、市内の企業などとも連携し、事業を実施していくことも考えなければならない。さらなるスポーツ人口拡大のためには、公民館や学校との連携を考えていく必要があると思われる。